



『教会はキリストの体、一人一人はその部分』

コリントの信徒への第一の手紙12章27節

日米合同教会は、特にニューヨーク市近郊に住む日本人並びに日本に関心を寄せる人々に、礼拝、交わり、学び、伝道・宣教の業を通してキリストの福音をのべ伝え、キリスト者として共に信仰を深めていくことを目的とする信仰共同体です。

◇ 牧師からのメッセージ ◇

65年前の8月15日、あの忌まわしい太平洋戦争にやっと終止符が打たれました。相互に敵とみなした日本とアメリカは、その後最も絆の強い友好国となりました。そのことに思いを馳せる時、私たち日米のクリスチャンは今何を神に祈るべきでしょうか。日本人のクリスチャンは、長い間日本を覆った軍国主義と誤ったナショナリズムが朝鮮半島を植民地にし、中国やフィリピンを侵略し、パールハーバーを攻撃したことが太平洋戦争の直接的原因であったことを率直に認める勇気を祈るべきです。アメリカ人のクリスチャンは、何万人という、戦争に直接関わりのない市民を一瞬にして殺戮する原子爆弾を二回も落とした事実を率直に反省する勇気を祈るべきです。◆そのような祈りを心から祈る時、私たち日米のクリスチャンは、神の平和の器としてこの地上に命を与えられ、そこに生きることを許されている恵みにあらためて深く感謝できるに違いありません。◆聖なる神を仰ぎつつ、人間らしく正々堂々と生きていこうではありませんか。

◇ 日曜礼拝説教の要約 ◇

■8月8日「お金は悪の根源か？イエスの答えは？」ルカ12:16-21

◆古いことわざに「お金は悪の根源」というものがあります。これは本当でしょうか。ある農場主の畑が大きな収穫に恵まれました。蔵に入りきれない穀物を目の前にして、彼は嬉しい悲鳴をあげます。彼は早速より大きい蔵を建て、その中に収穫物を全部入れて、自分に言い聞かせます。「さあ、これですべて安心だ。これからは、飲んで、食べて、愉快地過ごそう。」しかし、その夜、農場主は突然死んでしまうのです。◆イエスは人々に問いかけます。「この人が蔵に貯めた収穫物にどのような意味があるのか？」財産やお金に目がくらむと、人はとたんに冷血動物のようになり、それを増やすことだけに神経を使い、他者への優しい眼差しを失ってしまうのは、よくあることです。お金や財産に関わるイエスの考えは、お金は善の道具となることもあるし、悪の道具となることもある。善の道具となるか、悪の道具となるかは、それをを使う人による。あの欲深い農場主の問題は、収穫物を大きな蔵にため込んだ時点で、自分の事だけを考え、自分のために働いている人たちのことを全く考慮に入れなかった点にあります。悪の根源はお金ではありません。悪の根源は、人間の利己心、自己中心性にあります。つまり、食べ物と同じように、お金も他者と分かち合う時、他者を助けるために使われる時、それは神の慈しみの器となるのです。◆18世紀のキリスト教指導者の一人ジョン・ウェスレーは、以下の言葉を残しています。「一生懸命働きなさい。一生懸命貯えなさい。そして一生懸命与えなさい。神の栄光と隣人のために。」◆私たちがこの精神を実行する時、金額の大小に関わらず、神はそれを祝い、神の御用のためにお使いになるに違いありません。神の慈しみの器として生きる喜びを自らのものとする事が出来るに違いありません。

■7月25日「祈りを教えてください」ルカ11:1-13◆「何を祈ったらいいのでしょうか」という弟子たちの質問に対して、イエスの答えは5つ

の点に要約できるものでした。◆一つ。「父よ、あなたがどういう方であるかを常に私たちに示してください。」(信仰を深め、神により頼む心を与えてください) 二つ目。「この世界を正しいものへと導いてください。」(この困難と問題に満ちた世界に対してあなたの慈しみを明らかにしてください) 三つ目。「私たちの生活に必要な糧を与えてください。」(お腹の空いている人に十分な食料を与えてください) 四つ目。「私たちは私たちに負い目のある人を赦しますから、私たちの負い目を赦してください。」(赦しと慈しみが私たちの生活を方向付けるように導いてください) そして、最後に五つ目。「すべての危険から私たちを守ってください。」(戦争や復讐心や憎しみや嫉妬から解放してください)◆私たちは、信仰と正義と赦しの心を祈るのです。その上で、熱心に祈り続けなさい。求め続けなさい。探し続けなさい。扉を叩き続けなさいと神は言われます。何故なら、神は絶対に私たちの祈りを無視されることはなく、必ずお答えになり、そして必要としているものを必ずお与えになるからです。しかし、祈れば、私たちの私利私欲や復讐心に満足があたえられるというのではないのです。◆十字架にかかる前夜、ゲッセマネの園での主イエスの祈りは、「どうかこの杯を私から取りのけてください。しかし、私の思いではなく、あなたの思いが成りますように。」聖霊は、「この杯を私から取りのけてください」を「しかし私の思いではなく、あなたの思いが成りますように」へと変えたのです。つまり、あなたがたは何でも祈りなさい。神の聖霊が、あなたがたの祈りを正しいものに変えてくださる、というのです。神の答えは私たちが期待したものと違うかもしれませんが。私たちが欲しくないものかもしれませんが、「神は私たちの祈りを必ず聞き届けたまう。」これ程の慰めがあるでしょうか。

◇ おめでとうございます ◇

■洗礼式◆イエスはまことのぶどうの木 佐藤美由紀姉記
◆1999年春、私は中国にて韓国の友人に誘われて、はじめて韓国の教会へ行きました。そして2008年にその教会で出会った人に誘われ、今度はアメリカで韓国の教会へ通うようになりました。◆日米合同教会へは2009年7月に新聞広告を見たのがきっかけで通うようになりました。ちょうど秋からアルファコースがあることを知り参加し、多くのことを学ぶことができました。特に、エフェソ信徒への手紙2章19-22節にふれて「教会を訪れる人々が、その中に神を見出すことができる」と感じるようになり、アルファのスタッフの方々やともに参加する女性の方たちとの交わりや語らいのときを持つうちに、神様に触れる人になりたいと思うようになりました。◆結果として、私はこうした方々を通じて信仰に導かれました。イエス・キリストを救い主として受け入れた後、今までは生活の中で暇つぶし程度に楽しんでいた娯楽もののビデオやDVDを観ても虚しく感じるようになり、それよりもキリストを感じるもの、特にキリストの愛を



を感じるものを求めるようになりました。また、教会の中でのクリスチャン同士の交わりが心から楽しくなりました。人間関係にも何か神様を感じたり神様の話をするに心地よさを抱くようになりました。◆現在、合同教会の「ぶどうの木の家」というスモールグループに参加し信仰の交わりをしていますが、これからもぶどうの木の枝としてつながり、豊かな実を結びたいと思います。

■**田部一憲兄お別れのご挨拶** 去年より長期の病氣療養を余儀なくされましたが無事に回復しました。皆様の励ましとお祈りに感謝します。さらに10月よりインドのSharda University工学部土木工学科にて教鞭をとる道が開かれました。9月に妻と共にNYを離れます。主が合同教会において私ども夫婦を養われたこと、特に結婚式を導かれ、私を癒され、さらに夫婦の行くべき道を示してくださったことに感謝すると共に、私どもを温かく見守りここまでお交わりいただきました皆様方に心からお礼を申し上げます。

◇アラスカ・ミッション・アドベンチャー 2010◇

7月31日から8月11日にかけて、JAUCの若者を代表して、吉田初美さんとサブリーナ ファランダさんが、イリノイ州にあるベイリービル改革派教会の19人のワークチームと共に、アラスカ州サットンにある、イーグルクレストユースミニストリーに参加されました。チームはそこで地元の助けがいる人々のために、建築作業の奉仕をしました。主に、屋根を含む家屋内外のペイント作業の行程をすべて、下塗りに始まり、やすりかけ、仕上げ塗りに至るまでを行いました。木の運搬、庭の柵の修繕なども、機械を使わずに手作業でした。チームは、朝夕2回、聖書の学びの時間を持ち、日曜は地元の教会で礼拝を受けました。仕事だけでなく、スーアード半島へ観光も楽しみました。氷河を歩きましたし、小型の飛行機にも乗りました。これらの貴重な体験をすべて、スライドショーと証しによって、帰省後8月15日にJAUCにて会衆と分かち合いました。初美さんとサブリーナさんの振り付けによるダンスの賛美で、プレゼンテーションは締めくくられました。You Raise Me Up という歌をバックに相田絵里香、カクラコン・ダウ、コートニー・ギグナード、ウィリアム・リベラル、スーアン・マデウロの6名が友情出演しました。◆会場で集められた献金は、大堀ユース基金に納められました。将来のJAUCにおけるユースプログラムの育成に使われる予定です。



◇夏期キャンプ・修養会の報告と情報◇

■**ディスカバリーキャンプ2010** 小林かおる姉記 ◆7月31日(土)8月1日(日) 今戸ちづ子さん、佐藤美由紀さん、私、小林かおるは、中原信之さんが車を出して頂き、差し入れのお菓子やカップヌードルを持ってお手伝いに行ってきました。快晴、暑すぎず、心地よい風の吹く日でした。土曜日はバスケットをする子供たちを見学、吉松先生が施設を案内してくださいました。その後スーパーに買出しに行き、夕飯はそうめんを冷やし中華風に作りました。その後、吉松先生にお願いしてキャンプファイアーをしてゲーム賛美をしました。(その日は予定していませんでしたが先生のご好意で)その夜はカウンセラー、先生たちとミーティングに加わり意見交換をいたしました。その後消灯。◆翌日の日曜日は朝6時起床、おむすび、味噌汁、たまご焼き、ウインナーを皆で作りました。子供たちは大喜びでした。その後礼拝をし、少し早めのランチを食べ、帰路に着きました。帰り際に佐藤美由紀さんがこのキャンプのカウンセラーとして残ることになりました。佐藤さんいわく、恵みある日々を子供たちと過ごされたそうです。わたしは、キャンプやキャンプファイアーを経験したことなど人生の中であったらどうか?と思いました。夕方から美しい静かな海を照らす夕日を眺め、また朝には日の出を見る



ことができました。シェルターアイランドは実に美しい島です。子供キャンプはイエスキリストの愛を子供たちに知ってもらうために毎年行われています。一人でも多くの子供たちが救われるために、このキャンプがあります。ディレクターの相良先生、吉松先生から日米合同教会とSMJが1977年に発足したこの子供キャンプを長く存続させるため、日米合同教会からもカウンセラーが来てくださることをお願いされました。一度、教会の方もこの子供キャンプにカウンセラーとして、またヘルパーとして参加されることをされてみてはいかがでしょうか?きっと実りある何かを受け取れることでしょう。

■**東海岸合同ファミリーキャンプ** 隔年で開催されている東海岸日本語教会合同ファミリーキャンプが、9月4日(土)から6日(月)にかけてエレンヴィルで行なわれます。テレビ伝道などを通して広く福音を日本人に伝えていられる榊原寛先生(ワールド・ビジョン・ジャパン理事長、牧師歴45年)が主題講演をして下さいます。また、音楽ゲストとして岩淵まこと・由美子ご夫妻も来られます。当日は教会から会場までバスが出ます。なお、キャンプ翌日の7日には、岩淵ご夫妻のコンサートをJAUCでも開催します。

◇講演会から◇

■**日野原重明講演に寄せて** 本井 慶次郎兄記 ◆昨年5月、日野原重明博士は、マサチューセッツ州のフェアヘブンでの「ホワイトフィールド・万次郎友好記念館」の開設式をし終え、帰路シエラトン・ニューヨークホテルで「ジョン・万次郎」についての講演をされました。その講演を聞いたことのある私は日野原先生がわが所属教会JAUCで講演してくれる、という朗報に触れ胸を躍らせました。◆講演は、生き方の選択「水平の生き方と垂直の生き方」というタイトルがついたもので、お話の内容は、クリスチャンとしての理想とスケールの大きい愛の実践でありました。◆水平の生き方とは世俗的な生き方を指し、垂直の生き方とは神と直結した、聖霊が与えられ、神の偉大なるパワーにより歩む生き方だと解釈しました。◆このことは存じなかったのですが、先生の父上様は牧師先生をしていて、先生がお生まれになった翌年、タイタニック号が沈没した年で知られている1912年にアメリカに留学されており、その父親からよくアメリカの話聞いていたそうです。戦争が始まると「日本は負ける」と言われていたそうです。先生自身も1951年、39歳の時に、アメリカの最新医療を学ぶために留学され、メーヨー・クリニックなど有名どころで学ばれ、帰国後、インターン・シップ制度、看護学校の設立など、日本に初めて医療教育と施設を築かれておられます。◆数多くの興味深いお話がありましたが、以下はそのうちのひとつです。旧約聖書の詩篇の90編を引用し、2500年前でも公害のない良い空気と水に恵まれ体に良いものを食べていれば80歳まで生きれた。今日であれば、誰でも100歳までは生きれる。が、公害やジャンクフードを食べていることから昔より早く死んでしまっている。健康に暮らすためにはまず食べ過ぎない事が大切との事。◆メインテーマである、愛について、有名なコリント人への第一の手紙の13章を引用されました。スケールの大きい「愛」を説かれ、いかなることがあっても、相手を「許す」、「復讐をしない」という心(愛)がないと良い結果は生まれない、とおっしゃいました。そして人のために死ぬことが、クリスチャンにとっては最大の愛である、と言われました。先生は10歳の時、腎盂炎にかかり、1年間外に出て遊ばず、これが縁でピアノを学んだそうです。また、青年期(京大生)には結核にかかり8ヶ月も寝たきりで、トイレにも自分では行けずに過ごしたそうです。そのような体験を通して苦難や病気にかかる事はクリスチャンにとって「恩寵」である、と言われました。自らがそのような患難に遭う事によって人への思いやりが生まれてくる、また、戦争は文明

日米合同教会月報62巻2010年9月号

人のする事ではない、ともおっしゃいました。◆日野原先生は私たちに夢と希望を与え続けてくれているのを確認し、真に感謝であります。

◇ お知らせ ◇

■9月のスケジュール ◆9月4日-9月 6日(土-月):第3回東海岸日本語教会合同ファミリー・キャンプ ◆9月7日(火)7pmクリスチャン・ミュージシャン岩淵まことコンサート。◆9月13日(月)7:15pmVIPプリンマー日本語教会李牧師◆9月15日(水)7pmアルファ・セレブレーション◆9月22日(水)7pmアルファ・コース開始(11月24日迄)◆9月26日(日)1pm 松原教会音楽伝道チーム・コンサート◆

■日野原重明先生の署名入り著書「I Want to Talk to You Now」の残部がまだ12冊程あります。お買い求めになりたい方は(一冊15ドル)牧師までお申し出ください。

■新しい英語讚美歌購入 新しい讚美歌のために多くの方々が献金してくださいました。心から感謝いたします。注文は発注され、出版社から送られてくるのを期待を持って待っているところです。後日礼拝の中で献呈式を行う予定です。

◇ 教会建物修復関連 ◇

建物修復委員会は、この夏毎週委員会を開き、建物の修復について協議しました。その結果、専門家による建物の現状検査は終わり、建物の状況がはっきりしてきました。時を同じくして委員会は委員会が委託した建築家のジム・クルーリー氏と建物修復・改善についていろいろ意見を交わしました。委員会は次回の理事会にその内容を報告し、後日開催される教会会議にも報告いたします。建物の状況に関する正確な理解を持っていただくために、写真や報告文を社交室に貼り出しますますので、会衆の皆様は是非ご覧ください。委員会は、建物前部が相当痛んでいることは予測していましたが、後部が前部以上に手入れを必要としていることに驚きました。前部と後部の修理を完成させないと、建物を教会らしくする外装に手を付けることはできません。どうか、大きな責任を担っている建物修復委員会と理事会のためにお祈りください。

◇ アルファ・コース ◇

■アルファ祝賀会 9月15日(水)7pm 夕食とお話「キリスト教:的外れ、嘘、退屈?」にご招待します。(無料)

■秋のアルファ・コース 9月22日-11月24日(水)アルファは誰でも参加できます。中でも◆キリスト教に興味を持っている方◆教会に通い始めて間もない方◆結婚を考えているカップル◆基本を学び直したいクリスチャン、気軽に参加してください。毎週水曜日7時からです。連絡は丸橋理加姉<infoalpha@gmail.com>へお願いします。

◇ 主のもとへ ◇

◆松尾みつお兄(6/3/1920-6/5/2010)は1950-60年代に活躍されたメンバーでした。心臓麻痺によりこの6月に90歳で天に召されました。ご遺族は奥様きよ様と二人のお子様ナンシーさん、ロバートさんです。メモリアル・サービスは7月24日、御家族の教会で執り行われました。ご近所にお住まいの下村義也牧師が出席されました。

◆武間享次牧師(1926-2010)京都のお生まれ。同志社大学神学部から学士号を、エール大学神学部から学士号と修士号を取得されました。長老教会の牧師となられ、数々の重要な働きをなさいました。日米合同教会とも親しくお交わりをいただき、数回にわたりゲストスピーカーとして日曜礼拝で説教をしていただきました。6月16日に84歳のご生涯を全うされ主のみ元に行かれました。メモリアルサービスは7月12日NJのThe Presbyterian Church at Tenafly に於いてとり行われました。日米合同教会から献花が捧げられ4人の会員が出席しました。武間牧師と奥様のぶ子様には二人のご息とご息女と三人のお孫さんがおられます。

◆劉世花(りゅうせい)姉は去る8月16日長い闘病の後、96歳の生涯を閉じ天に召されました。戦時中ご出身地台湾で日本語を習われましたから日本語がお出来になりお住いがJAUCの近くだった事もあって日曜礼拝には20年間出席しておられました。優しい人柄でいつも微笑んでおられました。9人のお子様の内、6人がご存命で母様の最後をみとられました。世花姉はお子様と一緒に台湾からニューヨークに移住されておりました。世花姉のご家族は全員敬虔なクリスチャンとの事です。1994年にJAUCの会員になられました。8月23日のメモリアルサービスにはJAUCから献花を捧げ、9人が出席しました。鈴木牧師はこの後、墓地へ向かわれ、埋葬式の司式をおつとめになりました。

◇ 祈りのリクエスト ◇

次の方々を日々の祈りに覚えて下さい。ジェン・アーボン(春日姉のお嬢様)、浅井ひさよ、伊藤ゆう子、岩佐敏夫、神崎ヨネ、桑田ハリー、小口愛(ウェストミンスター教会)、松本二三子、宮崎キース(松隈リチャード兄の甥御様)、野間美奈子、奥田久子、デスピナ・プロドロミディス(ホーガン姉のお嬢様)、山崎あきら(堀内マーサ姉の弟様)諸兄姉(五十音順)

Receipt & Expense Report	06/2010	Y-T-M 06/2010
Receipt	8,873.49	57,357.26
Pledges	4,041.00	32,786.43
Other offering	1,861.90	14,584.12
Interest & Dividend	2,970.59	9986.71
Expense	5,796.30	58,086.73
Profit or Loss	3,077.19	(729.47)

6/30/2010 現在